

東京2020オリンピック聖火リレー

鹿児島県実行委員会 選定ランナー

**自己PR・応募動機
第三者の推薦**

東京2020オリンピック聖火リレー鹿児島県実行委員会

令和3年4月13日時点

※居住地は選定時点

4月27日（火）

[1日目]

走行予定ランナー

東京2020オリンピック聖火リレー 鹿児島県実行委員会選定ランナー

■聖火ランナー内定者

フリガナ	ヤスカワ	アケミ	年齢	職業
姓名	安川	明美	52	看護師
ゆかりのある市町村			現在居住している市町村	
志布志市			志布志市	

※年齢は令和3年4月1日時点

■自己PR・応募動機

分野	復興・オールジャパン・世界への発信
<p>わたしは看護師だ。この町のクリニックにやってくる老若男女の手当をする。わたしは妻だ。隣町の会社に40分かけて通勤する夫に、毎朝弁当を持たせている。わたしは嫁だ。隣に住む車を手放した夫の両親を病院や買い物に連れていく。わたしは母親だ。都大路を走り、今は箱根を目指す一人息子を東京に出している。わたしは応援団員だ。息子の出場する大会で大きな声で声援を送る。県下一周駅伝では、もちろん曾於チームを応援する。都道府県対抗では鹿児島県を、国際大会では、当然日本を応援する。わたしはランナーだ。地元の大会、県内各地のマラソンで楽しみながら走っている。わたしは、消防団員だ。少子高齢化が進むこの地域で、女性消防隊員として、まち、地域、家族を守るための活動を続けている。わたしは、がん患者だ。3年前に手術して、今も病気と闘っている。いろいろなわたし、すべてがわたし、わたしは、生きる。</p>	

■第三者の推薦

申込者との関係	友人
<p>安川明美さんは、私の前任校での保護者です。奉仕作業での草払い機の操作、他の保護者の悩み相談や地域で困った人への面倒見のよさ、女性消防団員としての活躍など、常に積極的に他とかかわる姿は他の人の手本でした。また、パラグライダーをやったり、マラソンであちこち走ったりと大変活動的な人です。一人息子は、陸上長距離で学校のエースとして活躍しました。彼女はスタンドから他の誰よりも大きな良く通る声で応援します。勝っても負けても前向きに接することで、彼の成績はぐんぐん伸び、ついに県代表にまでなりました。彼女の性格が子どもの才能を伸ばしたのです。しかし、何よりも訴えたいのは、がんを克服する彼女の強さです。告知を受けた時のショックは計り知れませんが、持ち前の明るさ、前向きな姿勢、ひたむきさが病魔を追い払いました。その強さは、聖火ランナーとして地元をそして大会を盛り上げ、元気づける最適な人物であると考え、推薦します。</p>	

東京2020オリンピック聖火リレー 鹿児島県実行委員会選定ランナー

■聖火ランナー内定者

フリガナ	キオ	ユウト	年齢	職業
姓名	木尾	優仁	15	中学生
ゆかりのある市町村		現在居住している市町村		
大崎町		大崎町		

※年齢は令和3年4月1日時点

■自己PR・応募動機

分野	スポーツ・健康
<p>私は、曾於郡大崎町に居住し、大崎町立大崎中学校に通っています。学校外でも大崎町で空手の練習にも取り組んでいます。大崎町は、現在過疎化が進んでいる地域ですが、ジャパンアスリートトレーニングセンター大隅を中心とした陸上の聖地を実現しようとする活動などを積極的に行っています。一流のアスリートや一般の人がともにスポーツをできる環境ができつつあることを、多くの人に伝えることができればと思っています。陸上部として6月の地区総合体育大会2年生100m走で第1位、空手では県で5位以内に入る結果を残し、中学校では、現在生徒会副会長の活動をしています。聖火ランナーを経験できれば、その経験を活かし、大崎町の発展のために活動したいと考えています。</p>	

■第三者の推薦

申込者との関係	部活動顧問
<p>木尾優仁さんは、大崎中学校陸上部に在籍し、部活動や生徒会の活動など地域の活動へも積極的に協力しています。大崎町の陸上の聖地の取り組みを発信したいと考えています。また、陸上部の練習へも積極的に取り組み、大会ごとに記録を伸ばしています。生徒会でも副会長として、会長をサポートし、学校をより良くしようと頑張っています。聖火ランナーを経験することで、その経験をもとに、さらに大崎町のスポーツの発展のために活躍できる人物であると考え推薦します。</p>	

東京2020オリンピック聖火リレー 鹿児島県実行委員会選定ランナー

■聖火ランナー内定者

フリガナ	ナガタ	リライ	年齢	職業
姓名	永田	梨里衣	16	高専生
ゆかりのある市町村		現在居住している市町村		
曾於市		曾於市		

※年齢は令和3年4月1日時点

■自己PR・応募動機

分野	スポーツ・健康
<p>私は曾於市財部町で25年前に発足した財部長距離クラブに小5から入り、今年で4年目になる。走るようになってから陸上記録会の学校代表で選ばれるようになり、中2の曾於地区中学校体育大会駅伝競技では区間賞をとることができた。私に走りを教えてくれるコーチは県下周駅伝曾於チームの総監督だ。平成2年の第32回県下周駅伝では、曾於チームが32年ぶりの総合優勝を果たした。その時に活躍した選手だ。私はコーチから走ることの楽しさを教えてもらった。だから、聖火ランナーで走りたいという気持ちになった。鹿児島は駅伝が盛んで、走ることに関わってきた人がたくさんいるところだと聞いている。財部長距離クラブは現在部員6名である。私が聖火ランナーをすることで多くの人に走ることの楽しさを届けられ、財部の町を含む曾於地区、大隅半島で走る人がたくさんふえて強い選手が出てくるといいなと思う。</p>	

■第三者の推薦

申込者との関係	学校
<p>永田さんは、中学校での体育大会で800m走や色別リレーの選手として活躍しました。体育大会に向けて、彼女自身も十分に練習したはずですが、しかし、彼女は生徒会役員も務めていることから、自分の練習よりも学校全体のことを優先し、学校を良くするために行動していました。自分自身のことはいつも後回しでした。その振る舞いと影での努力を誰もが知っていたので、体育大会で彼女が走るときには、敵・味方関係なくみんなが応援していました。彼女の行動は、私たちに勇気と感動を与えてくれました。彼女のような人間が学校という枠を飛び越え、聖火ランナーという大きな役割を担い走ることができれば、鹿児島に或いは日本全体に勇気を与えることができるはずです。そして、日本人が持っているおもてなしの心、勤勉性、利他の精神を世界にアピールするためにも、彼女のような人材（人財）が活躍できるステージをつくっていくことが我々大人の役目だと思っています。以上のことから永田梨里衣を聖火ランナーとして推薦します。</p>	

東京2020オリンピック聖火リレー 鹿児島県実行委員会選定ランナー

■聖火ランナー内定者

フリガナ	チュウレイ	ショウタ	年齢	職業
姓名	中 豊	翔 太	14	中学生
ゆかりのある市町村		現在居住している市町村		
鹿屋市		鹿屋市		

※年齢は令和3年4月1日時点

■自己PR・応募動機

分野	スポーツ・健康
<p>私が聖火リレーランナーに応募したのは、「スポーツ」が人生の楽しみになったからです。私は小さい頃から水泳と陸上をしていました。しかし、5年生の時に発熱が続き、肺炎になり、入院しました。その時、病院の先生は、スポーツをして体力があったから早期退院できたとおっしゃっていました。退院した後も、5年生の間は、運動会や持久走大会など激しいスポーツは「ドクターストップ」により出来ず、見ているだけでした。しかし、徐々に「ドクターストップ」がなくなっていくと出来る事が増え、激しいスポーツの制限がなくなると、色々なスポーツに参加できるようになりました。私は、そんな時があったからこそ、今年、中学に入学して、バレーボールを始めようと思った時はやる気で一杯でした。聖火リレーランナーの募集を聞いた時は、すぐに聖火を持って走っている自分を想像し、やりたいと思いました。この体験を通して、これからもスポーツに貢献していきたいと思います。また、わが町鹿屋を盛り上げていきたいです。</p>	

■第三者の推薦

申込者との関係	父
<p>息子は予定より一か月早く産まれました。歩ける様になった頃から祖父母と散歩に行き、楽しみながら歩く事が日課になっていた様に思います。お蔭で大きな病気もせず、元気にすくすく成長しました。幼稚園から水泳を始め、小学5年生まで続けていました。地域の陸上クラブにも所属し、週2回走り、水泳教室に週1回通い、スポーツを楽しんでいましたが、小学5年生の時に発熱が続き、肺炎になり10日間入院しました。その後は激しい運動は制限がかかり、陸上、水泳をやめざるをえませんでした。しかし、少しずつ体力をとり戻し、今年中学に入学し、バレーボール部に入りたいと言った時は、そこまで体力が戻ったのだと親子で喜び合いました。初めてのバレーボールで戸惑う事もあった様ですが、先生方のアドバイスも心強く、新しい事を学び、成長している事が親から見ても楽しそうです。小学校で3年間続けた合唱部と部長の責任を1年間務めたリーダーシップを生かし、これからもチームをまとめる人間に育って欲しいと願っています。</p>	

東京2020オリンピック聖火リレー 鹿児島県実行委員会選定ランナー

■聖火ランナー内定者

フリガナ	ナカシマ	ショウゴ	年齢	職業
姓名	中島	彰吾	15	中学生
ゆかりのある市町村		現在居住している市町村		
東串良町		東串良町		

※年齢は令和3年4月1日時点

■自己PR・応募動機

分野	スポーツ・健康
<p>僕の暮らしている東串良町は、自然豊かな町で、ピーマンやキュウリが名産です。人々もとても親切で、心穏やかに暮らすことができる町です。また、幼少期に暮らしていた鹿屋市は、大隅の中でも一番大きい町で、とても活気にあふれ、僕もたくさんの友達があります。現在中学校で、生徒会本部役員をして、学校の様々な行事に取り組んで、よりよい学校になるようがんばっています。また、サッカー部に所属していて、キャプテンをしています。今回聖火ランナーになることができれば、東京オリンピックが成功することを願いながら、一生懸命走りしたいと思います。また、この経験を友達などにも伝えながら、誇りとして、高校生活をがんばりたいと思います。そして、大人になったら、次世代の子どもたちにもこのことを伝えていきたいです。</p>	

■第三者の推薦

申込者との関係	教頭
<p>本生徒は、文武両道をモットーに掲げ、日々学校生活に一生懸命に取り組んでおります。部活動は、サッカー部に所属しており、キャプテンとして練習に励み、チームをまとめようと努力しています。サッカーは、7年間続けています。また、生徒会活動にも積極的に取り組み、現在、生徒会本部役員として学校をよりよくしようと尽力しています。学習に対しても一生懸命で、学力も常に上位に位置しております。来年度は3年生にもなるため、本校の中心的な存在になることを期待している生徒です。卒業後も進学先で活躍していく人材だと考えております。以上の理由で、本校から推薦させていただきます。</p>	

東京2020オリンピック聖火リレー 鹿児島県実行委員会選定ランナー

■聖火ランナー内定者

フリガナ	ヒラノ	リナ	年齢	職業
姓名	平野	利奈	17	高校生
ゆかりのある市町村		現在居住している市町村		
垂水市		垂水市		

※年齢は令和3年4月1日時点

■自己PR・応募動機

分野	街づくり・持続可能性
<p>2020年オリンピックが日本で56年ぶりに開催される。この世界規模で行われるスポーツの祭典に関わりたいと強く思った。私には、生まれつき足に障がいを持っている双子の姉がいる。だから、身体の不自由な人達の苦勞がよく分かるつもりだ。お互いに難しいことを助け合い、支え合い、認め合い楽しく過ごしている。そんな風に過ごせるのは、私が住む地域の方々の支えが大きい。生まれてからずっと過してきた垂水市は少子高齢化が進んでいる。私が住む地域でも、小学校は全校生徒が8名しかいない。しかし、少ないからこそ皆が協力的で、優しく声をかけてくれたり、助けてくれたりする。それが日常のこの地域では、引込み思案な私でも、のびのびと日々を楽しく過ごさせている。聖火ランナーになることで、自分自身も成長し、地域を盛り上げたい。そして走ることで、家族や地域の方々へ感謝の気持ちを伝えたいと思い希望した。</p>	

■第三者の推薦

申込者との関係	部活動顧問
<p>温厚質実であり何事に対しても積極的で前向きに取り組もうとする。陸上部に所属している。練習開始の30分前には、活動が円滑にできるように準備し、時間通り始めることができる。できないことは練習時間外で反復練習をし、できるように人一倍努力している。誰に対しても素直な対応ができ、仲間思いで、その人にペースを合わせることができるので、周りからの信頼も厚い。また、学業面においても部活動と同様の姿勢で向き合うことができ、文武両道ができている。垂水高校を代表する模範的な生徒である。垂水市松ヶ崎の出身であり、同じ地区にいる同級生は2人である。少人数であるからこそ地域の繋がりはとても強い。彼女が走る事が地域の元気な街づくりとなり、子どもの心に未来への希望の光が灯るだろう。彼女が聖火ランナーとして走ることで、垂水と世界と未来を変える力があると確信し、ここに推薦いたします。</p>	

東京2020オリンピック聖火リレー 鹿児島県実行委員会選定ランナー

■聖火ランナー内定者

フリガナ	タバタ	コウキ	年齢	職業
姓名	田畑	昂樹	13	中学生
ゆかりのある市町村		現在居住している市町村		
奄美市		奄美市		

※年齢は令和3年4月1日時点

■自己PR・応募動機

分野	スポーツ・健康
<p>僕は、3年前に大阪から奄美市に引っ越ししてきました。引っ越ししてすぐは、大阪に戻りたいと思ってました。なぜなら、奄美には、ケンタッキーやマクドナルドがないし、バッティングセンターは、1カ所しかないからです。でも、きれいな奄美の海で泳いだり、釣りをしたり、川でエビ取りをして遊んだり、奄美の黒うさぎを見に行ったりと、奄美の自然にふれていくうちに、奄美が大好きになりました。僕の通う、奄美市の小学校では、授業で追い込み漁や田植えをします。大阪の小学校では、このような授業はありませんでした。奄美の自然が豊かだからできるんだと思います。今回は、地元の奄美市の聖火リレーが実施されるので、ぜひ聖火ランナーになって、この奄美の豊かな自然ときれいな景色を世界に広めたいと思い応募しました。僕は、小学校1年生から、少年野球団に入っています。今年は6年最後の年なので、練習や自主練を一生懸命頑張りました。僕のチームは、今年 大会4回優勝、県大会2回出場、西日本大会出場と成績を残しました。聖火ランナーになれたら、少年野球できたえた足で走りたいと思います。</p>	

■第三者の推薦

申込者との関係	母
<p>3年前、奄美の自然の中で子供をのびのびと育てたいと、大阪より移住してきました。さらに、昨年より特定認定校の小規模校に通うこととなり、小中学校で40人ほどの学校で、自然に触れ合いながら、のびのびと育ててくれます。この小学校では、追い込み漁をしたり、田植えをしたりと、大阪では経験できなかった事を、授業の中で体験でき、毎日生き生きと学校に通っています。少年野球チームに所属していて、県大会でベスト4、8月には九州大会に行きます。走りは早く、特に長距離が得意です。この奄美の自然の中で、自然の良さを伝えながら、走って欲しいと、今回応募しました。本人も、ぜひ走りたい！と、早く応募して～応募して～と今朝も言われ、応募しています。ぜひ、息子に聖火ランナーをさせていただきたいと思います。よろしくお願いします。</p>	

東京2020オリンピック聖火リレー 鹿児島県実行委員会選定ランナー

■聖火ランナー内定者

フリガナ	オオノ	ヒナコ	年齢	職業
姓名	大野	日菜子	13	中学生
ゆかりのある市町村		現在居住している市町村		
大和村		大和村		

※年齢は令和3年4月1日時点

■自己PR・応募動機

分野	街づくり・持続可能性
<p>私は、この聖火リレーを通して、奄美大島のよさをたくさんの人に知ってもらいたいです。私は、小学校1年から6年間、水泳を通してたくさんの人と仲良くなる事ができました。この2020年の東京オリンピックの聖火リレーを通して、いろいろな国の人と交流をもち、仲を深め、奄美大島に少しでも、興味を持ってもらいたいです。奄美は、自然がとても豊かで、食べ物がとてもおいしく、人がとても温かいところです。世界自然遺産にも登録されるように、村全体で協力をする、強い団結力があります。たくさんの動物も生息しており、いつも近くで自然や動物とふれあう事ができます。他にも、独自の文化もあり、昔からの伝とうや神様の言いつたえなどがたくさんあり、今も大切にうけつがれています。このような、たくさんの自然や代々うけつがれている文化、動物を、これからもたくさんの人に知ってもらうために、オリンピックの聖火リレーを通して、奄美大島の事をたくさんの人に知ってもらいたいです。</p>	

■第三者の推薦

申込者との関係	校長
<p>当該児童、大野日菜子さんは、普段から大変明るく活発で、前向きに学校生活を送っている。そして、文武両道の精神で学習にも運動にも一生懸命取り組んでいる。学校では、「最高学年として下級生をまとめていかなければ。」という意識が高く、全体を見回し下級生に声かけをしたり、模範となる行動をしたり、リーダーとなっている。責任感も強い。また、運動面では1年生から水泳スポーツ少年団に所属し、村、地区、県の大会等で優秀な成績を収めている。そして、持ち前の人懐っこさを生かし、大会等では、自ら他校の児童と積極的にコミュニケーションを取り、交流を深めている。本人は、今回の聖火リレーを通して、いろいろな方と交流を持ち、郷土の良さを発信することを強く希望している。希望が実現すれば、彼女の今後の人生においても、自信や励みとなることだと思う。よって、大野日菜子さんを聖火ランナーに強く推薦致します。</p>	

東京2020オリンピック聖火リレー 鹿児島県実行委員会選定ランナー

■聖火ランナー内定者

フリガナ	イズミ	レオ	年齢	職業
姓名	泉	伶音	13	中学生
ゆかりのある市町村		現在居住している市町村		
宇検村		宇検村		

※年齢は令和3年4月1日時点

■自己PR・応募動機

分野	スポーツ・健康
<p>僕は6歳の頃からサッカーを始めて、これまで多くの経験をさせてもらいました。また、サッカーをすることで、指導者の方たちや一緒に競い合った友達、応援してくれた保護者、地域の方々から、何事もやり遂げる強い気持ち、人に対する優しい気持ちや感謝の心など、これまで多くのことを教えてもらい学ぶことができました。今では、サッカーは僕にとってかけがえのないものです。僕が希望する奄美市には、その影響を与えてくれた人たちが数多く住んでいます。もし、聖火ランナーに選ばれて、この区間を走ることになったら、これまでお世話になった方々への感謝の気持ちを心に感じながら走りたいと思います。スポーツは、みんなの心を熱くさせたり感動させたり、時には心の支えとなるものです。もし、この貴重な経験が叶うことになれば、この経験を活かして、多くの人とこの思いを共有していきたいです。</p>	

■第三者の推薦

申込者との関係	知人
<p>私は今回の聖火リレーの宇検村代表は伶音くんしかいないと思います。私の知人で家でよくパンを焼く婦人がいるのですが、お付き合いで伶音くん宅にパンをあげた数日後、「〇〇さん、あのパン美味しかったありがとう。また焼いてね」と声をかけてくれたそうです。伶音くんには人に気遣いできる優しい人柄が溢れています。また、頑張ってるサッカーの試合で奄美から選ばれた仲間たちと鹿児島遠征に行ったときに、一回戦で負けて大泣きしたことがあるそうです。その時「お母さん、僕のためにたくさんお金を使っているのに負けてしまってごめんなさい」と言ったそうです。私はそのことを聞いて感動しました。伶音くんのことを心から応援してあげたいと思いました。このように、人に気遣いができ、自分が頑張っているのは、親、回りの応援している人のおかげだとわかっている伶音くんだからこそ、みんなへの感謝の気持ちをトーチに込めて、立派に聖火を繋ぐ役目を果たせると思います。心から推薦します。よろしくお願いします。</p>	

東京2020オリンピック聖火リレー 鹿児島県実行委員会選定ランナー

■聖火ランナー内定者

フリガナ	サイトウ	ケンゴ	年齢	職業
姓名	齊藤	憲吾	14	中学生
ゆかりのある市町村		現在居住している市町村		
瀬戸内町		瀬戸内町		

※年齢は令和3年4月1日時点

■自己PR・応募動機

分野	スポーツ・健康
<p>小学生から野球をやってきて、中学校入学してからも野球部に入部しました。今は3年生が引退して部員が7人しかいません。公式試合には他校から部員を借りて出場しています！人数が足りない野球部で、限られた練習しか出来ないけど、毎日頑張っています。今はチーム作り！一致団結！そして1勝！！という目標にむけて、声出し、体力作りなどの基礎を練習して頑張っています。</p>	

■第三者の推薦

申込者との関係	母
<p>息子の通っている中学校では野球部の人数が少なく、なかなか練習試合なども組めない状況でも、日々練習を頑張っている子供たちの姿を見て感動、感謝のきもちでいっぱいです。息子たちをサポートしてくれる顧問、外部コーチ、そして野球部のみんなに、ちょっとでも勇気、前進する姿を見てほしいです！シャイな息子なので、とても勇気ある行動なんです！！</p>	

東京2020オリンピック聖火リレー 鹿児島県実行委員会選定ランナー

■聖火ランナー内定者

フリガナ	カトウ	タケト	年齢	職業
姓名	加藤	竹虎	15	中学生
ゆかりのある市町村		現在居住している市町村		
龍郷町		龍郷町		

※年齢は令和3年4月1日時点

■自己PR・応募動機

分野	街づくり・持続可能性
<p>僕は10年前に奄美大島に家族で移住しました。5歳まで神奈川県に住んでいて、向こうで祖父や祖母と過ごしたことや、同じマンションの友達と遊んだ記憶が少しですが残っています。小さかった僕は、引っ越すことへの寂しさも、都会で住むことへの未練もありませんでした。島に移住したばかりの頃は、見るもの全てがキラキラ輝いているように感じ、毎日、ワクワク過ごしていたような気がします。僕はいま、中学生になりました。少しだけ自分の将来について考えることがあります。都会にいる自分を想像したり、島で過ごしている自分を想像したり。ずっと先の事は分からないけれど、今回ランナーに選ばれたら、僕が今、奄美大島で過ごしている大切な時間の証になると思います。幼かった頃のように、イモリを何十匹も捕まえたり、蝶を追いかけることはないけれど、僕は奄美大島の自然が大好きです。僕がここで元気に走る姿を、祖父祖母に、あの頃公園で一緒に遊んでいた友達に、見てもらいたいです。「みんな元気ですか？僕は奄美大島で元気に過ごしています。」</p>	

■第三者の推薦

申込者との関係	母
<p>幼い頃から動物や昆虫が大好きだった竹虎にとって、島は大自然の宝庫でした。中学生になった彼は、都会での生活に多少興味を持っているようです。将来どこに住むのかは、もちろん彼の自由ですが、ここで生活している家族との時間、ここで培った彼のアイデンティティを大切に、忘れないでいて欲しいです。聖火ランナーとして走ることで、ささやかでも、歴史の片隅に2020年のこの彼の姿をしっかりと焼き付けることが出来たらと思います。</p>	

東京2020オリンピック聖火リレー 鹿児島県実行委員会選定ランナー

■聖火ランナー内定者

フリガナ	イチキザキ	ヤスユキ	年齢	職業
姓名	市來崎	靖幸	15	中学生
ゆかりのある市町村		現在居住している市町村		
喜界町		喜界町		

※年齢は令和3年4月1日時点

■自己PR・応募動機

分野	スポーツ・健康
<p>私は陸上部に所属しており、聖火ランナーとして走る機会が与えられるかも知れないということを聞き、応募しました。私の所属している喜界中学校陸上部は、ほかの部と兼ねて活動できるよう、早朝練習で取り組んでいます。しかし、毎年多くのメンバーが地区予選を突破し、県大会に出場しています。私も1年生の昨年度から本年度の2回、県大会に出場しました。また、昨年度の中学校駅伝大会にも1年生ながら選手として出場し、地区大会で区間3位となるなど、チームとしての地区大会入賞及び県大会出場に貢献できました。私の住む喜界島は緑の自然と蒼い海に囲まれた美しい島です。今回聖火ランナーとして是非走りたいと熱望しています。離島に住んではいますが、ずっと国内や海外のアスリートが集まる東京オリンピックに憧れをもっていました。私は聖火ランナーとして走り終えたとしても、今後も走り続け、走る素晴らしさを周囲へ伝えていきたいです。4年に1回のオリンピック、しかも日本で行われる東京オリンピックを応援する者として、大変名誉なことだと思っています。</p>	

■第三者の推薦

申込者との関係	校長
<p>市來崎靖幸さんは本校陸上部に所属しており、現在中学2年生で、今後の活躍も期待される部員です。来年度は、靖幸さんに陸上部主将を任せる予定です。それは、練習態度や陸上での成績、周囲からの期待など、靖幸さんが適任だと考えているからです。具体的には、個人で地区大会を勝ち上がり長距離部門で2年連続県大会に出場していますし、昨年度は1年生ながら本校駅伝チームの出走メンバー入りを果たすなど、実力も十分です。ちなみに、県大会は全体で16位でしたが、大島地区の出走中学校では本校が1位でした。また、熱心に練習に取り組むので、陸上部以外の生徒も含めて、他に与えるよい効果も期待できます。今後は、聖火ランナーとしての経験を活かしつつ、本県で行われている県下1周駅伝の大島地区代表選手になることを目指し、部活動や職場で走ることを継続し、スポーツの素晴らしさを発信し続ける存在であることから、靖幸さんを推薦します。</p>	

東京2020オリンピック聖火リレー 鹿児島県実行委員会選定ランナー

■聖火ランナー内定者

フリガナ	フカミ	ヨウイチ	年齢	職業
姓名	深美	陽市	37	教諭
ゆかりのある市町村		現在居住している市町村		
天城町		天城町		

※年齢は令和3年4月1日時点

■自己PR・応募動機

分野	文化・教育
<p>聖火リレーが行われる奄美大島の隣にある徳之島で小学校の先生をしています。赴任してきて4年目。”子宝の島”と言われるとおり子供の数が多く、活気のある島です。小学校では2020年度から英語・外国語教育が本格的に実施されます。小学生が英語に触れる機会が格段に増えます。ただ、3・4年生では「外国語」という科目名になっていることから分かるように、英語に限らず、様々な国の言葉、更には文化や生活についても学習します。しかし、徳之島への来島外国人はまだそう多くはなく、外国の方々と触れ合うことも多くはありません。そこで、私が聖火ランナーとして出場し、子供たちに経験を語ることで、オリンピックをもっと身近に感じてもらうだけでなく、様々な国の人や生活、国際交流について、知る・学ぶ・考える機会になればと思っています。このような機会が、広い視野で、自分の未来が島の未来を切り拓いていく子供たちの育成にも繋がると信じています。ぜひ私に聖火ランナーをまかせてください。</p>	

■第三者の推薦

申込者との関係	妻
<p>私の夫、深美陽市は、徳之島で小学校教諭として勤務しています。しかし、彼にはもう一つの顔があります。それは「トライアスリート」です。徳之島では、毎年「トライアスロンin徳之島大会」が開催されます。スイム2キロ、バイク85キロ（全島一周）、ラン20キロの過酷な大会ですが、夫は3年連続完走しました。鍛えた体と諦めない精神力・・・夫は強い。妻の私から見てもそう感じます。ですが、夫の過去を思うと、それは奇跡のようにも思えます。実は、夫は18歳の時に「急性骨髄性白血病」を発症しました。治療は本当に辛く、苦しく、死を覚悟したこともあったそうです。しかし、19歳のときにドナーが見つかり、骨髄移植手術を受け、一命を取り留めました。そして現在36歳となり、充実した日々を送っています。夫が聖火ランナーとして走ることで、学校で関わる子ども達、地域の方々、そして白血病に罹患している方々に勇気を与えることができると信じています。どうか夫を聖火ランナーに選出してください。よろしく願います。</p>	

東京2020オリンピック聖火リレー 鹿児島県実行委員会選定ランナー

■聖火ランナー内定者

フリガナ	ヨシミ	カズヒサ	年齢	職業
姓名	吉見	和久	58	経営者
ゆかりのある市町村		現在居住している市町村		
伊仙町		大阪府大阪市		

※年齢は令和3年4月1日時点

■自己PR・応募動機

分野	復興・オールジャパン・世界への発信
<p>24年前に阪神・淡路大震災があった。私は土建業という職業にあり、数年間は、その分野での災害現場の応急対応を、その後、本格的な復旧へと、様々なシーンで参加してきた。民間企業で、零細企業であったため、地域コミュニティーの復興などに貢献したというよりは、個々の立場での小さなスポットでの作業の積み重ねではあったが、これまで、数え切れないくらいの被災物件に携わってきた。その意味では、被災地全体の復旧に貢献できたと思っている。また、阪神・淡路大震災以降、各地であった大規模災害には、できるだけ被災地に訪れ、その惨状の把握と、その惨状を繰り返さないためのノウハウを、それ以降の案件に反映させることができるよう、社員、協力会社、顧客と共に常に検討している。今回は、復興五輪。その意味で、是非、私も参加したい。父母の里でもある徳之島伊仙町も、台風被害により、堤防の崩壊など、かなり酷い状態を見た。ふるさとの早急の復興を祈り、聖火ランナーとして走りたいと考えている。</p>	

■第三者の推薦

申込者との関係	会社関係者
<p>吉見社長は、聖火ランナーというシンボリックな存在が、うってつけであると思います。その理由の一つは、感性のアンテナと言いますか、興味を持った物への反応が早く、その後の行動力が素晴らしいからです。例えば、昨年の徳之島の台風被害の後にも、現地に入り、被災箇所などの確認に行っていました。他にも、全く自分に似合わないことでも、興味を持ったら、すぐにチャレンジし、人を驚かせます。逆に、要らないと思えば、すぐに切り捨て、物に執着しません。それなのに、「金を持っていることが無意味だ」と説く……。少し意味の理解しにくい平行感。そういったことで、一般の人や同世代の大勢とは違う価値観や人生観で、後輩や若い人、同世代の人たちへの影響力も大きく、かなり信頼されていますし、うまく他人を鼓舞させるといったこともできる人です。以上のことから、私は彼を聖火ランナーに推薦します。</p>	

東京2020オリンピック聖火リレー 鹿児島県実行委員会選定ランナー

■聖火ランナー内定者

フリガナ	イノリ	ヒロクニ	年齢	職業
姓名	禰	広洲	73	無職
ゆかりのある市町村		現在居住している市町村		
瀬戸内町		瀬戸内町		

※年齢は令和3年4月1日時点

■自己PR・応募動機

分野	街づくり・持続可能性
<p>私は、瀬戸内町老人会の副会長をしています。瀬戸内町老人会では、老人の運動会や文化祭のほか、年間を通して、地域のみなさんと一緒に、その他多くの行事に積極的に取り組んでいます。副会長をして5年目になりますが、“会員増強”や“地域貢献”，“自立した生活”などをテーマに1人でも多くの方に、参加していただけるように、努めています。また、自分の地域の老人会長になって、2年目になります。多くの老人が外出し、人とコミュニケーションが図れればと思います、ゲートボール大会やグランドゴルフ大会など、毎月のように企画しています。健康づくりを兼ね、自らも毎日ゲートボールを行ない、今年は大島郡のゲートボール大会で優勝し、鹿児島県大会に出場することができました。聖火ランナーの経験はないです。70歳を超えていますが、200mをしっかりと走ることはできます。聖火ランナーに選ばれたら、いつも一緒に活動している瀬戸内町のみなさんの応援を背に、走りぬきたいと思います。</p>	

■第三者の推薦

申込者との関係	娘
<p>聖火ランナーに父を推薦する理由として、父の人生はずっと人のために地域活性化のために、尽力してきたと思っています。自分より他人を優先して、嫌なことを率先してする父ですが、損な役とは思わず“NO”と言わない性格もあるのですが、定年退職してからは今も、老人会の役員や集落の役員をしており、日々忙しいながらも楽しそうにこなしています。老人の方の集まりなので、運動会などの地域の行事の準備や進行を積極的に行い、自分は前に行くことなくいつも裏方に徹している父が、聖火ランナーで走ることで、いつもと違うカタチで地域を盛り上げてほしいです。</p>	

東京2020オリンピック聖火リレー 鹿児島県実行委員会選定ランナー

■聖火ランナー内定者

フリガナ	キイレ	タイセイ	年齢	職業
姓名	喜入	大星	13	中学生
ゆかりのある市町村		現在居住している市町村		
知名町		知名町		

※年齢は令和3年4月1日時点

■自己PR・応募動機

分野	スポーツ・健康
<p>私は小学校4年生までの10年間奄美市に住んでいました。そのときは、野球や相撲のチームに所属し、各大会に積極的に参加して、スポーツに親しんできました。現在は、知名中学校の野球部に所属しています。私の父母は、奄美市出身で、現在、祖父母は奄美市在住です。その祖父母が現在病気療養中です。もしも私が聖火ランナーとして奄美市を走ることができたなら、その祖父母を喜ばせ、元気づけることができると思っています。また、聖火ランナーになれたなら、私は、今まで以上にオリンピックに関心を持ち、部活動やスポーツに親しんだり頑張ったりすることができると思います。また、将来への大きな自信につながるとも思っています。これは、祖父母も望んでいることです。ぜひ、聖火ランナーとして元気に奄美市を走りたいです。どうぞよろしくお願いします。</p>	

■第三者の推薦

申込者との関係	教頭
<p>聖火ランナーを希望している喜入大星君は、学校生活や部活動を元気に頑張っています。聖火ランナーを経験することは、本人の自信やモチベーションを高めるとともに、学校生活や部活動に対する意欲を高め、今後の生活態度の向上につながるものと考えます。また、喜入大星君が聖火ランナーという名誉を務めることで、学級・学校・地域を明るくし、活気づけることになるとも考えられます。さらに、何よりも、今後の本人のスポーツ人生におけるよい励みになることは間違いないでしょう。以上のことから、知名中学校では、喜入大星君を聖火ランナーに推薦することにしました。</p>	

東京2020オリンピック聖火リレー 鹿児島県実行委員会選定ランナー

■聖火ランナー内定者

フリガナ	カワバタ	アキラ	年齢	職業
姓名	川畑	アキラ	52	ミュージシャン
ゆかりのある市町村		現在居住している市町村		
与論町		与論町		

※年齢は令和3年4月1日時点

■自己PR・応募動機

分野	文化・教育
<p>与論島出身で、全国各地のマラソン大会に参加し、ライブで歌って、参加している方々・応援している方々に元気になってもらうシンガーソングランナーとしての活動をしている歌手の川畑アキラと申します。夢にまで見た東京オリンピックの聖火ランナー、地元鹿児島を走って、オリンピックをぜひ盛り上げたいと思っております。鹿児島であれば日にちコースなどは問いません。よろしくお願いいたします。</p>	

■第三者の推薦

申込者との関係	母
<p>全国のマラソン大会に参加して全て完走しております。精神面・体力面ともに申し分ないと思っております。そして何より昭和の東京オリンピックを知る人間の一人として、息子にぜひ聖火ランナーとしてその勇姿を見せてもらいたいと思っております。よろしくお願いいたします。</p>	

東京2020オリンピック聖火リレー 鹿児島県実行委員会選定ランナー

■聖火ランナー内定者

フリガナ	タシロ	アツシ	年齢	職業
姓名	田代	篤史	38	医師
ゆかりのある市町村		現在居住している市町村		
徳之島町		徳之島町		

※年齢は令和3年4月1日時点

■自己PR・応募動機

分野	スポーツ・健康
<p>2万人が住む徳之島で唯一の循環器専門医として、徳之島の心臓を守っています。1人ということで大変なこともあります。支えてくれている島民のために、都会と同じ、むしろそれ以上の水準での診療を心がけています。徳之島出身でない私が、長く島に住んで、自分の腕を捧げようと思ったのは、毎年出場している徳之島トライアスロンの存在が大きいです。徳之島トライアスロンはスイム2キロ、バイク75キロ、ラン20キロと過酷なレースですが、夏の炎天下の中、多くの島民が沿道で応援してくれます。多くの患者さんやその家族の方々が、私が通るのを心待ちにして毎年応援してくれます。毎年完走できるのは、その応援ゆえです。その恩返しにオリンピックの聖火リレーという大舞台に立つことで、多くの患者さんたちを元気にしたい、この気持ちで応募いたします。</p>	

■第三者の推薦

申込者との関係	勤務先
<p>田代先生は徳之島に赴任して5年になりますが、徳之島でたった1人の心臓の専門医として、日々の診療やカテーテル手術に取り組んでいます。先生が赴任する前は、急性心筋梗塞の患者さんは全てヘリコプターで島外へ緊急搬送していましたが、現在は先生が全て島内で治療しています。こんな恵まれた島は、国内にもほとんどありません。人柄もとても明るく、多くの患者さんのファンを持ち、徳之島徳洲会病院、いや徳之島になくてはならない存在になりました。先生は毎年徳之島トライアスロンに出場しており、その勇姿を見るのが年に一回の楽しみという患者さんも多くいます。そんな先生が聖火リレーを走ることで多くの患者さんを元気にすることができると思い推薦いたします。</p>	

東京2020オリンピック聖火リレー 鹿児島県実行委員会選定ランナー

■聖火ランナー内定者

フリガナ	シモカリヤ	ソウマ	年齢	職業
姓名	下仮屋	蒼馬	16	高校生
ゆかりのある市町村		現在居住している市町村		
肝付町		肝付町		

※年齢は令和3年4月1日時点

■自己PR・応募動機

分野	スポーツ・健康
<p>僕は中学生になって陸上を始めました。僕は、陸上がとても大好きで様々な大会を動画で見してきました。そして、一番印象に残っているのは、2016年に開催されたリオオリンピックで、矢澤航選手がハードルで出場していて、ハードリングがとてもカッコ良かったです。13.89で準決勝に行けませんでした。しかし、矢澤選手は楽しんでいました。僕は矢澤選手を目標にしていきたいです。そして、自分もオリンピックに出たいと思い、最初の階段は聖火ランナーだと思い、立候補しました。よろしくをお願いします。</p>	

■第三者の推薦

申込者との関係	父
<p>中学に入り陸上部に入部し、ハードルを専門として頑張ってきました。1年生の大会では、全くと言っていいほど記録が出ませんでした。2年になって記録も伸び、現在3年生ですが県3位まで来ました。本人は陸上が好きで、その中でもハードルが一番だといいます。先日県総体では、九州大会・全国大会を目指していましたが、予選中に怪我をしてしまい、決勝では力が出せず、残念な涙を流しました。振り返れば、2年生の県総体でも決勝で転倒してしまい悔しい思いをしています。なので、今年にかける気持ちは強かったと思いますが、結果が出てしまったのでそれを受け入れるしかありません。ただ、陸上が好きで、その中でもハードルにかける思いは親ながらに感心します。鹿児島在住で観戦・応援には行けませんが、息子には何かの形でオリンピックに関わる事でこれからの成長に影響を与えて欲しいと思い、推薦させていただきました。</p>	

東京2020オリンピック聖火リレー 鹿児島県実行委員会選定ランナー

■聖火ランナー内定者

フリガナ	ヒメガサコ	アカリ	年齢	職業
姓名	姫ヶ迫	あかり	14	中学生
ゆかりのある市町村		現在居住している市町村		
錦江町		錦江町		

※年齢は令和3年4月1日時点

■自己PR・応募動機

分野	スポーツ・健康
<p>小学校2年生の時、私は母と一緒に初めて小学生のサッカーの大会の応援に行きました。「一つのボールを追いかけてながら、あんなに速く走れるなんてすごいなあ」と、とても感動しました。私は走るのが苦手で、持久走大会では、いつもビリから2番目でした。でも、サッカーの選手たちを見て、「私もあの選手たちのように速く走れるようになりたい。私もかわりたい」という思いから、私はサッカー一部に入部しました。練習は予想以上にきつく、校庭を20周ちかく走ることもありましたが、苦しくても、練習を続けていくと、6年生の頃には、5・6年生女子の部で2位になることができました。とても嬉しかったし、何より走ることが楽しくなっていました。中学生になり、私はテニス部と駅伝部に入って、仲間とともに楽しく活動しています。選出していただけたら、周りの方々への感謝の気持ちを忘れず、聖火ランナーとして、走る楽しさ、素晴らしさを多くの人に伝えていきたいと考えています。</p>	

■第三者の推薦

申込者との関係	校長
<p>姫ヶ迫あかりさんは、明朗活発で、太陽のような存在で、学級に元気を与えている。ソフトテニス部に所属しており、日々の練習に一生懸命励み、学習との文武両道に努めている。友達からの信頼が厚く、学校を休みがちな生徒がいるとすぐに家を訪ねるなど、優しく思いやりのある生徒である。将来は小学校の保健の先生になり、困っている人に寄り添いたいと考えている。また、ロードサイクリングが趣味である。錦江町で国体のロードレースが開催されることもあり、国体やオリンピックにむけての興味関心が高まり、大会成功に向けて一役を担いたいと考えている。優しく好奇心あふれるあかりさんは、考えすぎて、自信をなくし、遠慮してしまう一面もある。しかし、聖火ランナーを務めることで、多くの人々を勇気づけるとともに、自分に自信を持つ絶好の機会であると考えている。あかりさんなら、聖火ランナーの役目を立派に果たしてくれると考え、ここに推薦いたします。どうぞ、よろしくお願ひします。</p>	

東京2020オリンピック聖火リレー 鹿児島県実行委員会選定ランナー

■聖火ランナー内定者

フリガナ	シライシ	ヤクモ	年齢	職業
姓名	白石	哉雲	16	高校生
ゆかりのある市町村		現在居住している市町村		
南大隅町		鹿児島市		

※年齢は令和3年4月1日時点

■自己PR・応募動機

分野	スポーツ・健康
<p>僕は、自然の豊かな佐多に生まれ、とても優しい地域の方々に色々と教えてもらい、支えられて、これまで過ごしてきました。今回、聖火ランナー募集のパンフレットを見て、この機会を利用して、今までお世話になったり、これからお世話になる方々への感謝の気持ちを伝えながら走りたいと思いました。もし私が選ばれたら、南大隅町の代表として、堂々と走りきり、地域の方々の気持ちも乗せて走りたいと思います。この経験は誰でも得ることができるものはないので、これからの生活に活かしていき、自分の人生の勲章の一つとしていきたいと思います。また、将来は、これからの南大隅町の活性化に貢献できる人物になりたいと考えているので、この経験を次の世代にしっかりとつないでいける人物になりたいです。</p>	

■第三者の推薦

申込者との関係	学校職員
<p>白石哉雲くんは、小学校2年生から、父親の影響もあり、卓球を始め、中学校では県大会個人戦ベスト8に入賞、九州大会にも出場するなど輝かしい実績を残しています。また、学校の代表として駅伝大会などにも出場するなど、運動能力も非常に高いです。学校では、生徒会長として、生徒会活動の企画・運営など中心となって活動しています。また、後輩の面倒見もよく、挨拶や礼儀など常にお手本となる態度で学校生活を送り、友人だけではなく、教職員や地域のかたがたからも信頼の厚い人物です。頼まれた仕事は最後まで責任を持って果たすことができるだけでなく、周りにも気を遣い、「自分に何ができるのか」「何を今すべきなのか」を常に考えることができます。ここに、南大隅町の代表として聖火ランナーにふさわしい人物であることを信じ、推薦いたします。</p>	

東京2020オリンピック聖火リレー 鹿児島県実行委員会選定ランナー

■聖火ランナー内定者

フリガナ	ミウラ	トモヤ	年齢	職業
姓名	三浦	智也	19	—
ゆかりのある市町村		現在居住している市町村		
霧島市		霧島市		

※年齢は令和3年4月1日時点

■自己PR・応募動機

分野	復興・オールジャパン・世界への発信
<p>私は、霧島市で生まれ育ちました。そして霧島連山の雄大な景色が大好きです。そんな私が聖火ランナーを志望する理由は2つあります。1つ目は、障がいの有無にかかわらず、誰でもスポーツを楽しむことができるということを伝えたいからです。私は、幼少期から難病を抱えていて、小学4年生ぐらいから車イスで生活しています。そのため、体育の授業などは全て見学でした。スポーツをすることは、もう無いだろうと思っていました。しかし、高校から通い始めた養護学校で、その考えは一気に無くなりました。「ボッチャ」や「スラローム」など車椅子でもできるスポーツに出会いました。スポーツを楽しむということは誰にでも平等であるということを聖火ランナーになることで伝えたいと思いました。2つ目は、東京オリンピックを盛り上げたいという強い思いがあるからです。日本で2度目のオリンピック開催は、とても誇れることなので、聖火ランナーによってオリンピックを盛りあげたいです。</p>	

■第三者の推薦

申込者との関係	担当セラピスト
<p>私は療育施設で三浦君を担当しており、彼を聖火ランナーとして推薦致します。彼は現在養護学校に通い、日常生活では両親の助けや訪問看護、支援事業所を利用しながら、移動や姿勢変換、入浴補助といったサポートを受け生活を送っています。彼は今年、鹿児島県障がい者スポーツ大会、車いすスラローム競技に初出場し、銀メダルを獲得しました。大会まで学校の空き時間を利用して練習に励み、本番では落ち着いて自分の力を発揮することができました。彼の応援に来ていた同じ障がいを持つお子さんのご家庭は、「勇気を貰った。可能性は沢山ある。自分の子ども将来色々な事に挑戦させてあげたい」と、とても感動されていました。私も自分の可能性を信じることの大切さを改めて感じ、彼に対して今後の大きな可能性を感じました。彼の病気の特性上、新しいことに挑戦するという決断は強い意志と周囲の協力が必要です。彼にはその強い意志と周囲を惹きつける力があると思います。彼の挑戦を後押しして頂きますようご配慮お願い致します。</p>	

東京2020オリンピック聖火リレー 鹿児島県実行委員会選定ランナー

■聖火ランナー内定者

フリガナ	ニシ	マホ	年齢	職業
姓名	西	眞帆	15	中学生
ゆかりのある市町村			現在居住している市町村	
始良市			始良市	

※年齢は令和3年4月1日時点

■自己PR・応募動機

分野	スポーツ・健康
<p>今回、私が聖火ランナーに応募したのは、少しでも自分の夢だったオリンピックに近づきたいと思ったからです。私には、どうしても聖火ランナーをしたい理由があります。私の将来の夢は、プロのバレーボール選手になって、オリンピックを目指すことでした。小学校2年生からプレーを続けていて、毎日ボールを触る生活をしていました。でも、この3月に「脊髄空洞症」という病気にかかってしまい、夢は変更せざるを得なくなりました。開頭手術を受け、病気の進行を止めることはできました。首に負担がかかる運動は制限がありますが、日常生活は問題なく送れるようになりました。でもやはりバレーボールへの想いはなかなか断ち切ることができないところです。今は、新しい夢を探して、さまざまなことにチャレンジ中です。この聖火ランナーを引き受けることで、バレーボール選手として関わることはできなくても、オリンピックのさまざまなサポートができることをみんなに紹介したいです。また、病気にかかった私を支えてくれた家族や友だち、先生方へ、元気に走る姿を見せたいと思います。</p>	

■第三者の推薦

申込者との関係	校長
<p>推薦する西眞帆さんは、山田中学校で生徒会本部役員として活躍してくれています。明るく元気な生徒で、同級生や地域の小学生からの信頼が厚く、頼りにされています。病気のため、バレーボールを断念しましたが、1年時には地区の選抜大会に選ばれる等、選手としての実績を積んできました。チーム内では入部当初から正選手として活躍し、試合中の声かけやフォローを積極的に行っていました。また、ムードメーカーとして同学年を盛り上げ、相談役となっていました。現在は退部しましたが、今でも応援に出かけ、アドバイスや声かけをしているようです。バレーボールを通して、仲間の大切さを学び、目標に向かって頑張り続ける姿勢を身に付けました。何より、スポーツをすることの楽しさを体感しており、現在は自分にできるスポーツ活動を模索しているところです。聖火ランナーの経験を生かし、これからも学校内外で活躍してくれることを期待しています。</p>	

東京2020オリンピック聖火リレー 鹿児島県実行委員会選定ランナー

■聖火ランナー内定者

フリガナ	イワシタ	タケシ	年齢	職業
姓名	岩下	孟司	16	高校生
ゆかりのある市町村		現在居住している市町村		
十島村		鹿児島市		

※年齢は令和3年4月1日時点

■自己PR・応募動機

分野	街づくり・持続可能性
<p>私は1歳の時に十島村の小宝島という島に生まれました。それから14年間、ずっとこの島に住んでいます。最近は過疎化も進み、島に1つしかない学校の生徒も小中合わせて10人しかいません。また、他の島の学校の生徒も同様に少なく、その大半が山海留学生です。それぞれの学校が人数不足を理由に廃校していくなか、私たちの学校もその危機に瀕しています。だからこそ、聖火ランナーになって走ることで、よりたくさんの人に十島村のことを知ってもらったり、興味を持ってもらったりして、それをきっかけに村にきてもらえると思ったからです。また、そうやって人が来ることで、村が賑わい、地域の活性化につながると考えました。多少変わる程度かもしれませんが、それでも村の活性化につながる良いチャンスだということに変わりありません。だからこそ、私は東京オリンピック聖火リレーのランナーとして走りたいです。</p>	

■第三者の推薦

申込者との関係	校長
<p>小宝島は人口が50名程度の小さな島であり、日常生活は限られた人物としか関わることができません。オリンピックという、多くの人に参加する世界的なイベントに関わることで、日常では体験出来ない貴重な経験を積むことができると考えます。メディアを通して観るだけでは、まだまだ自分とは関係ないと思いますが、実際に関わることで、さらに興味関心が高まり、オリンピックに限らず様々なことに関わろうとするきっかけとなるように思います。聖火ランナーとして走ることがゴールではなく、これを通過点として、まだまだ先のゴールに向かっていけるような機会として欲しいと思い、推薦いたします。</p>	

東京2020オリンピック聖火リレー 鹿児島県実行委員会選定ランナー

■聖火ランナー内定者

フリガナ	ヒダカ	マリナ	年齢	職業
姓名	日高	麻里奈	13	中学生
ゆかりのある市町村		現在居住している市町村		
三島村		三島村		

※年齢は令和3年4月1日時点

■自己PR・応募動機

分野	復興・オールジャパン・世界への発信
<p>大里小・中学校は、鹿児島から村営船「みしま」で約5時間の距離にある三島村黒島にあります。黒島は、人口約175名の小さな島です。私はこの島で生まれ育ちました。児童生徒数は小学校10名・中学校7名の極小規模の併設校です。同級生は私も含めて4名です。何をするにも友達と助けあい、協力してます。今までの私は、何をするにしても先に不安がきてしまいます。オリンピック選手の中には、私のこの島と同じくらいの人口で生活しながらも、大活やくしている人もきっといると思います。私自身にとっても、今回のオリンピック聖火ランナーを体験することによって、自信をもっともっとつけられるような気がしました。また、こんな島で生活している私が、少しでも世界のスポーツ選手の方々のかけ橋になれたらいいなと思い、応募しました。</p>	

■第三者の推薦

申込者との関係	伯父・副区長
<p>私は、三島村の黒島の黒島の大里地区というところで副区長をしています。大里は、人口の余り多いところではありませんが、非常に人々の繋がりが強く、お互いに支え合いながら生活しています。また「面踊り」「弓矢踊り」「手踊り」といった伝統的な芸能がとても多いです。この子は、大里で育ち、地域の様々な行事にも積極的に参加をし、伝統芸能を引き継いでくれています。また、今では6年生としての自覚も芽生えてきたように感じます。地域の人とも、よく自分から話しています。彼女にこの大里を盛り上げてもらうためにも、聖火ランナーとして頑張ってもらいたいと思っています。島で生活をしている人々が、聖火ランナーとして走っている姿を見ることで、たくさんの勇気をもらうことと思います。</p>	

東京2020オリンピック聖火リレー 鹿児島県実行委員会選定ランナー

■聖火ランナー内定者(鹿児島市高等学校体育連盟選抜チーム:グループランナー)

フリガナ	ハヤシ	ショウレン	年齢	職業
姓名	林	祥蓮	18	高校生
フリガナ	オザキ	セリ	年齢	職業
姓名	尾崎	世梨	18	高校生
フリガナ	ノイ	ワカナ	年齢	職業
姓名	野井	和奏	18	高校生
フリガナ	アリミズ	モコ	年齢	職業
姓名	有水	萌子	18	高校生
フリガナ	ウチタテモト	リョウスケ	年齢	職業
姓名	内立元	亮祐	18	高校生
フリガナ	ヤマシタ	ヒナタ	年齢	職業
姓名	山下	ひなた	17	高校生
フリガナ	ハラダ	マリン	年齢	職業
姓名	原田	まりん	18	高校生
フリガナ	モリヤマ	ナナミ	年齢	職業
姓名	森山	七海	17	高校生
フリガナ	ハシノ	テルマサ	年齢	職業
姓名	箸野	照昌	18	高校生
フリガナ	カミムラ	タクル	年齢	職業
姓名	上村	拓	17	高校生
ゆかりのある市町村			現在居住している市町村	
鹿児島市			鹿児島市	

※年齢は令和3年4月1日時点

■自己PR・応募動機

分野	スポーツ・健康
<p>私たちは、オリンピック・パラリンピックを目指して、常日頃、スポーツに励んでいる学生の中で、特に優秀な成績を残している者として選抜されました。水泳や陸上など競技人口が多い競技者もいれば、フェンシングやホッケーなど、あまり馴染みのない競技で活躍している者もいます。また、障がい者スポーツの競技者もあり、多様性に溢れています。私たちが走ることで、今までお世話になった方々に感謝の気持ちを伝えられるほか、鹿児島市のスポーツ振興を広くPRできると思います。</p>	

■第三者の推薦

申込者との関係	鹿児島市
<p>本グループは、高校生で構成されており、聖火リレー出走の経験は、これからの将来を担う世代にとって、今後の人生に好影響をもたらすと考える。また、メンバー全員が全国大会出場などの優秀な成績を残しており、各学校や地域の活性化に寄与しているほか、障がい者スポーツの競技者もあり、多様性に富んでいる。メンバーは、この聖火リレーを機に、他競技者との横の繋がりを見出し、今後、さらに本市のスポーツ分野の発展に貢献するものと期待している。また、聖火リレーを観る者にとっても、本グループから若い活力や意欲を感じ取れるものと思われる。以上のことから、本グループを推薦する。</p>	

【参考：鹿児島市高等学校体育連盟選抜チームの概要】

	氏名	所属学校	競技種目	実績・大会成績等
1	林 祥蓮	鹿児島	フェンシング	U-17世界選手権出場
2	尾崎 世梨	鹿児島南	フェンシング	全国総体準優勝
3	野井 和奏	鹿児島純心	新体操	全国総体団体準優勝
4	有水 萌子	鹿児島実業	ライフル射撃	九州大会優勝
5	内立元 亮祐	鹿児島聾	陸上	県障害スポーツ大会 ソフトボール投げ1位
6	山下 ひなた	甲南	水泳	全国高校総体 200m個人外泳6位
7	原田 まりん	樟南	陸上	H30全国駅伝 3区 区間6位
8	森山 七海	鹿児島女子	陸上	H31全国駅伝 3区 区間6位
9	箸野 照昌	池田	バスケ	2019茨城国体 少年男子選手
10	上村 拓	玉龍	ラグビー	県総体優勝

4月28日（水）

[2日目]

走行予定ランナー

東京2020オリンピック聖火リレー 鹿児島県実行委員会選定ランナー

■聖火ランナー内定者

フリガナ	イワシタ	アヤネ	年齢	職業
姓名	岩下	彩音	17	高校生
ゆかりのある市町村		現在居住している市町村		
出水市		出水市		

※年齢は令和3年4月1日時点

■自己PR・応募動機

分野	スポーツ・健康
<p>前回の東京オリンピックの時、私の祖父は鹿児島県の最終聖火ランナーとして走りました。祖父は出水高校の野球部のキャプテンを務め、外木場選手とバッテリーを組むキャッチャーだったそうです。祖父は急性骨髄性白血病で36歳で他界。母がまだ小学生の頃でした。私は祖父にあったことはありませんが、祖母や母、そして祖父を知る多くの人たちから、祖父のことをよく聞いていました。祖母の家には、聖火ランナーの祖父の写真やトーチが飾られています。今年、その祖父や母が通っていた出水高校に入学しました。高校に入り、小学4年生から続けているバレーボール部での活動や、将来、警察官になることを目指して、勉学に励んでいます。祖父と同じ高校に入学し、祖父と同じ高校生の時にオリンピックが来る。出水高校に入学してから聖火ランナーへの思いが強くなりました。祖父の走った聖火ランナーに。祖父がどんな気持ちで走ったのか。聖火ランナーになったら、走る姿を天国の祖父に見てもらいたいと思います。</p>	

■第三者の推薦

申込者との関係	祖母
<p>私の主人は、高校生の時に東京オリンピックの聖火ランナーとして走りました。当時は学校が違い、私は自分の学校の生徒が走るところにいましたので、主人の姿は見る事が出来ませんでした。その後沢山の方から写真をいただき、また新聞の記事などもあり、大切に保管をしています。高校卒業後、すぐに結婚をし、3人の子供たちに恵まれた矢先、主人が急性骨髄性白血病になり、闘病生活を余儀なくされ、子供たちにも大変不自由な思いをさせてしまいました。治ることを信じて主人も頑張っていました。が、36歳で他界。しかし、今でも主人がいるのではという思いを持ちながら生活をしています。孫育てに奮闘しながら、来年のオリンピックで出水高校に入学した孫が走ってくればという思いが強くなります。ぜひよろしくおねがいします。</p>	

東京2020オリンピック聖火リレー 鹿児島県実行委員会選定ランナー

■聖火ランナー内定者

フリガナ	ナガモト	ノブオ	年齢	職業
姓名	長元	信男	73	団体職員
ゆかりのある市町村		現在居住している市町村		
長島町		長島町		

※年齢は令和3年4月1日時点

■自己PR・応募動機

分野	スポーツ・健康
<p>また東京オリンピックが開催されるとは、夢にも思っておりませんでした。高校2年の時、聖火リレーの伴走者として走ったあの感動は今でも覚えております。今度は聖火を自分で持って走りたい気持ちが強くなりました。走るのが好きで、長島高校に入学してから駅伝の魅力にとりつかれ、高校3年の時走った県下一周駅伝。卒業して大阪に就職し、3年後家業の養殖業を継ぐため、帰郷し、地元の駅伝大会や出水地区の県下一周駅伝にも、第26回大会からコーチ、監督顧問として、男子女子の出水地区チームのため関わってきました。そして、永年出水チームの運営委員として貢献されてきた来仙先生が亡くなられ、第56回大会から運営委員長に推薦され、現在に至っております。今年2月にあった第66回県下一周駅伝では、2日目郷土入りで実に42年ぶりに見事日間優勝して、ゴールの出水市役所ではバンザイの大コールで盛り上がり、出水、阿久根、長島が一つになりました。これからもスポーツを通じて、青少年の健全育成、そして地域社会との交流を深めていきたいです。</p>	

■第三者の推薦

申込者との関係	友人
<p>氏は、現在東町漁業協同組合長をされているが、若い頃からスポーツ万能で、特に陸上競技は他の模範となるような実績とリーダーシップを発揮し、若者から高齢者まで地域の信頼が厚い。選手としては、長島一周駅伝競走大会や県下一周駅伝競走大会に出場し、コーチ、監督としての経験を活かし、出水地区の発展に寄与している。現在は、出水地区駅伝運営委員長として尽力しており、人間性、情熱、実績、どれを取っても聖火ランナーとして推薦するにふさわしい長島町の陸上界のレジェンドである。</p>	

東京2020オリンピック聖火リレー 鹿児島県実行委員会選定ランナー

■聖火ランナー内定者

フリガナ	ヒラハラ	リュウノスケ	年齢	職業
姓名	平原	龍之介	13	中学生
ゆかりのある市町村		現在居住している市町村		
西之表市		西之表市		

※年齢は令和3年4月1日時点

■自己PR・応募動機

分野	復興・オールジャパン・世界への発信
<p>僕は西之表市で生まれ育ちました。今は上西小学校の6年生です。僕の住んでいる上西校区は人口が減っていて、上西小学校の全校児童も17名です。一番多いときで240人もいたので、14分の1に減ってしまいました。僕は、人口が少ないと校区に活気がなくなってしまうのではないかと、とても心配しています。何より、この上西校区や西之表市が大好きなので、上西校区から聖火ランナーとして出場することで、地域の人々にも喜んでもらいたいと思っています。僕はスポーツが大好きで、赤尾木剣道スポーツ少年団で副キャプテンをしています。剣道以外にも自転車が好きです。短距離走も得意で、去年は西之表市の陸上記録会で1位になりました。僕の生きているうちに、日本でオリンピックやパラリンピックが開催されるのは、とてもうれしいです。もし、僕が聖火ランナーに選ばれたら、楽しんで走り、見ている人々に元気を与えたいです。そして、その経験を活かして、上西校区をもっと盛り上げたいと思います。どうぞよろしくお願ひします。</p>	

■第三者の推薦

申込者との関係	校長
<p>本校は、児童数17名の小規模校である。本児は6年生で、もう一人在籍している児童と協力して模範的な生活を送っている。本校区の一番の課題は校区の人口が年々減少していることである。そこで、平成20年に、共働きの夫婦を校区でサポートしようと、高齢者がボランティアで放課後の子供たちの面倒を見てくださる児童クラブが開設された。本児も入学時からお世話になっており、校区には並々ならぬ愛着が見られる。今回、聖火リレーに応募しようと思ったのは、上西校区で過ごす下級生と校区の方々に元気を届けたいという気持ちからだそう。この思いは日頃から強く、地域の老人ホームや校区の夏祭りでの全校ダンスの披露では、下級生をまとめ素晴らしい発表で観客を喜ばせていた。リーダーとして活躍する姿は下級生からも慕われている。校区への愛着がとても強い本児が聖火ランナーとして選ばれることは、学校はもちろん地域の活性化に大きく貢献するものと思われる。</p>	

東京2020オリンピック聖火リレー 鹿児島県実行委員会選定ランナー

■聖火ランナー内定者

フリガナ	オリト	ルイ	年齢	職業
姓名	折戸	瑠良	13	中学生
ゆかりのある市町村		現在居住している市町村		
中種子町		福岡県大野城市		

※年齢は令和3年4月1日時点

■自己PR・応募動機

分野	スポーツ・健康
<p>鹿児島市で生まれ、4歳まで鹿児島で暮らしていました。毎年、夏になるとおばあちゃんのいる種子島に遊びに行きます。きれいな海や自然がたくさんで大好きな場所です。おばあちゃんの住んでいる鹿児島で聖火ランナーをしたいです。また、友達に誘われたのをきっかけに6歳からずっとサッカーをしていて、スポーツが大好きです。週に4日の練習や週末に試合が入ると、休みがなく辞めたいと思ったこともありましたが、ずっと続けてきました。これからも、サッカーを続けます！！そして、いつかはオリンピックにも出られるような選手になりたいです。今回、聖火ランナーになれたら僕のオリンピックへの第一歩になると思います。</p>	

■第三者の推薦

申込者との関係	母
<p>父親の転勤の関係で福岡に引っ越してから、鹿児島で過ごした時間より福岡で暮らしてる時間の方が長くなってしまいましたが、自分のルーツである場所を再確認してもらい、また愛着を持ってもらいたいと思います。聖火ランナーとして鹿児島で走ることができたら、思い出深いふるさととして、大好きな場所になると思います。また、幼いころからずっとサッカーを続けてます。継続は力なり、チームワークの大切さ、お互いを尊重しながら日々成長しています。このような経験ができれば、より一層スポーツに精進していけるとと思います。</p>	

東京2020オリンピック聖火リレー 鹿児島県実行委員会選定ランナー

■聖火ランナー内定者

フリガナ	オオワキ	アオイ	年齢	職業
姓名	大脇	蒼彩	15	中学生
ゆかりのある市町村		現在居住している市町村		
南種子町		南種子町		

※年齢は令和3年4月1日時点

■自己PR・応募動機

分野	スポーツ・健康
<p>私は、陸上で長距離をしています。父のすすめで始めましたが、今はとても楽しく、大きな大会で記録を出すことを目標に走っています。去年は熊毛の代表で県の駅伝に出走しました。笑顔でタスキをつなぐことが出来、そのシーンが放送されました。そのシーンを見ていた方々から、声をかけていただくことが、とてもありました。たくさんの人に応援をしていただき、大きな大会に出て活躍することが、とても楽しくなりました。なので、日本が盛り上がる最高のオリンピックにするために、鹿児島県の小さな島から笑顔で聖火ランナーをつとめたいと思い応募します。</p>	

■第三者の推薦

申込者との関係	指導者
<p>小学生のころから指導をしています。日々努力して走っています。悔しい思いもたくさんしてきましたが、自分の力で勝ち取った熊毛代表の県の駅伝での、笑顔でのタスキリレーがとても印象に残っています。種子島での聖火リレーも、きっと持ち前の笑顔で走ってくれると思います。そして、その経験を陸上人生の大きな糧にしてくれると思います。</p>	

東京2020オリンピック聖火リレー 鹿児島県実行委員会選定ランナー

■聖火ランナー内定者

フリガナ	カジヤ	サワ	年齢	職業
姓名	加治屋	爽和	15	中学生
ゆかりのある市町村		現在居住している市町村		
屋久島町		屋久島町		

※年齢は令和3年4月1日時点

■自己PR・応募動機

分野	街づくり・持続可能性
<p>私の暮らす屋久島は、九州最高峰の宮之浦岳をはじめとする山岳島で、樹齢数千年と言われる屋久杉や、固有の植物が生息、自生する自然豊かな島です。1993年に世界自然遺産に登録されたこの島には、多くの方が訪れ、外国人の方々を目にするのもめずらしいことではありません。屋久島のよさや魅力が世界中に広がっていくことがとてもうれしいです。東京2020大会には、世界中から多くの選手や関係する人たちが日本にやってきます。スポーツの持つ無限の可能性を感じるとともに、日本や私たちの住む郷土のよさを世界に発信する絶好の機会だと思います。オリンピック聖火リレーによって、日本中で東京2020大会への機運が高まり、「希望の道をつなごう」のコンセプトのもと、平和で希望ある未来に向かって進んでいこうとする人々の心がつながっていくと思います。4年に一度のスポーツの祭典に、私も、その一員として参加したいと思い応募します。</p>	

■第三者の推薦

申込者との関係	校長
<p>本校は、屋久島型ESD（持続発展型学習）を推進しており、屋久島の自然遺産や林業遺産、伝統文化などを素材として、環境教育や郷土教育に力を入れている。当該生徒は、今年4月に鹿児島市から本校に転入した生徒である。ここ屋久島に住みはじめてから、自然探訪や地域住民との触れ合いを通して、様々なことを発見し、新鮮な気持ちで、屋久島のよさを情報発信しようとしている。今後は、屋久島検定にもチャレンジし、「屋久島博士」の取得を目指す。本人は、「屋久島の自然や文化は、本土と違うことが多く、勉強になるし楽しい。屋久島のよさを20年後、30年後につなげる気持ちで走りたい。」と言っている。性格は温和であるが、級友や家族と支え合いながら、何事も諦めず、どんな困難にも立ち向かっていく気力を持っている。今回、当該生徒が屋久島の代表ランナーとして屋久島のよさをアピールすることで、より一層、地域住民の一体感を高めたい。</p>	

東京2020オリンピック聖火リレー 鹿児島県実行委員会選定ランナー

■聖火ランナー内定者

フリガナ	ハセガワ	アヤネ	年齢	職業
姓名	長谷川	文音	17	高校生
ゆかりのある市町村		現在居住している市町村		
薩摩川内市		薩摩川内市		

※年齢は令和3年4月1日時点

■自己PR・応募動機

分野	スポーツ・健康
<p>私は薩摩川内市東郷町に育きました。現在はいれいめい高校野球部のマネージャーをしています。3人の兄が野球をしていたので、私も小さい頃から野球をしたいという思いがあったのがきっかけでした。2019年2月15日、心臓の手術をしました。先天性のもので、肺動脈閉鎖・三尖弁異常・心肥大があり、今私の中には人工弁が入っています。手術は不安でしたが、高校で野球部に入りたいという思いから、前向きに乗り越えることができました。ドクターに聖火ランナーのことを相談したところ、問題なしと診断してくださいました。れいめい高校の校訓は「不屈不撓」です。復興・不屈の精神（支え合う心）という文言を読んだ時に、私がまさに心がけていることと同じだと思いました。心臓の手術を乗り越え、野球部のマネージャーとして選手をサポートしていることが、私の喜びになっているからです。薩摩川内市を聖火ランナーとして走り、私を支えてくれている家族に、監督がいつも言っている「感謝を感動で恩返し」したいと思います。</p>	

■第三者の推薦

申込者との関係	高校野球部部長
<p>私は文音さんとは野球部で関わっている。彼女には兄が3人いるが、全員本校の卒業生および在校生で、3人とも小さい頃から野球をしていた。彼女もその背中を追って本校の野球部マネージャーに入部した。私が彼女と初めて会ったのは、一番上の兄の家庭訪問を実施したときだった。はきはきとして元気のある小学生だった。だからこそ、入学時に心臓に持病があると聞いた時には驚いた。マネージャーも体力がいる。心配だったので、1ヶ月間は体験入部という形で早めに帰らせた。手術も成功したと聞いたので、正式に入部を認めた。部員達からの信頼が厚く、すでに野球部にとって欠かせない存在になっている。彼女は献身的に野球部のサポートを行ってくれている。本人から聖火ランナーに応募したいので推薦書を書いて欲しいと依頼があった時、快諾した。いつも裏方で頑張っている文音さんを聖火ランナーという形で表彰台に立たせたい。私は文音さんが東京オリンピックの聖火ランナーとしてふさわしい人物であると強く確信し、推薦する。</p>	

東京2020オリンピック聖火リレー 鹿児島県実行委員会選定ランナー

■聖火ランナー内定者

フリガナ	ナカハラ	タイチ	年齢	職業
姓名	中原	大地	15	中学生
ゆかりのある市町村			現在居住している市町村	
阿久根市			阿久根市	

※年齢は令和3年4月1日時点

■自己PR・応募動機

分野	スポーツ・健康
<p>私は走ることが好きだ。私は阿久根陸上スポーツ少年団に入り、長距離種目を専門として毎日走っている。陸上競技場に行くと、いつも会う方達に「今日も練習頑張ってるね」と声をかけてもらったり、時には先輩方が一緒に走って、練習を引っ張ってくれる。練習を頑張れるのも、多くの方々の支えがあるからなんだと思う。私は走ることを通して、少しずつではあるが一人の陸上選手として成長できるから、私は走ることが大好きです。また、私が聖火リレーを募集した理由は、大好きな祖父がいつも見ている気がするからだ。祖父は一昨年亡くなったが、祖父も昔陸上をしていて、その祖父と一緒に練習をしていた母も陸上をし、現在みんなが大好きな陸上を私がしている。私の成長を楽しみしていた祖父に空から聖火リレーをしている姿を見てほしいと強く思った。今後も走ることを通して多くのことを学び、いつか私も陸上競技や走ることの素晴らしさを伝えられる人になりたいと思う。</p>	

■第三者の推薦

申込者との関係	母
<p>私は彼に様々なことを経験してもらい、人の繋がりや協力し合うことの大切さを学んでもらい、そして東京2020オリンピック聖火リレーを通して、走ったという結果だけでなく、オリンピックに込められた思いや願いがあることを彼に感じ取ってもらいたい。私の働いている社会福祉協議会では、様々な福祉活動も行っています。その中で、人と人との繋がりや協力し合うことの大切さがいかに重要なのかということ、日々働く中で感じています。また、最近のニュースで子供や大人のいじめ問題や様々な差別問題を日常的に見る機会がすごく増えたと思う。子供を育てる親として、何を教えることが正解などということはないかもしれないが、彼の未来が明るいものになれるように、親としてサポートをこれからもしてあげたい。また、彼が聖火リレーを走ることで、いつも応援してくれる方々や地域の方々に夢や希望を持ってもらえんと思いましたので、私は彼を推薦しました。</p>	

東京2020オリンピック聖火リレー 鹿児島県実行委員会選定ランナー

■聖火ランナー内定者

フリガナ	カワナミ	ケイシ	年齢	職業
姓名	川波	恵士	14	中学生
ゆかりのある市町村		現在居住している市町村		
日置市		日置市		

※年齢は令和3年4月1日時点

■自己PR・応募動機

分野	スポーツ・健康
<p> ぼくは、小学校1年生から日置市日吉町に住んでいる。4年生のころ、父と陸上で幅跳びを始めた。同時にソフトボール少年団にも入り、両方を頑張ってきた。小学校時代に「第2回フンドーキンカップ陸上大会」という大分県で開かれた大会で、4m95cmを跳び優勝することができた。中学生になった今は、SCCという陸上クラブに所属しながら走り幅跳びを、父と2人3脚で取り組んでいる。内容は違うが、中学生でもジュニアオリンピック陸上大会の出場を目指して頑張っている。5月の日置市陸上の地区総体では、男子走り幅跳びで5m51cmを跳び、1年生ながら優勝することができた。その勢いと、硬式野球のフレッシュ東市来に所属しながら、がむしゃらに野球をしながらも体を鍛えてきた体力で、ジュニアオリンピック陸上大会に出場したい。聖火ランナーで日置市を走れたら、この時代にいるみんなと共通の思い出を残せる。ぜひみんなの思いを感じながら、自分がトーチを運んでみたいと思っている。そして、その経験を胸に、これからの自分の取り組みに生かしていきたい。日置市をスポーツで自分が引っ張っていくリーダーになりたい。 </p>	

■第三者の推薦

申込者との関係	父
<p> 第50回ジュニアオリンピック陸上競技大会で、走り幅跳びの出場を目指して毎日努力を続けている川波恵士を推薦する。2020年、彼は14歳になる。今、続けている努力の先に見えるかどうかわからないが、繋がってるオリンピックを実感してもらいたい。55年前の東京オリンピック、聖火リレー、今の日置市を通るルートがあった。当時、鎧の甲冑を身に着けた小学生が聖火リレー隊を見守る写真を見た。身近なところにもオリンピックは来ていたのだと思った。その時の様子を様々な方が語っていた。鮮明な記憶が残っているのだ。それから鹿児島、日置市も、新たな未来の担い手を繋いできている。スポーツを通して努力している彼に聖火のトーチを握ってもらって、これからの新しい日本の、鹿児島の未来を作る一人となってもらいたい。そして、その聖火を見守る子供たちの心にも次々に未来を担う火を灯していく聖火リレーの役を与えてもらいたい。 </p>	

東京2020オリンピック聖火リレー 鹿児島県実行委員会選定ランナー

■聖火ランナー内定者

フリガナ	ニシダ	シュウタ	年齢	職業
姓名	西田	周太	15	中学生
ゆかりのある市町村		現在居住している市町村		
いちき串木野市		いちき串木野市		

※年齢は令和3年4月1日時点

■自己PR・応募動機

分野	街づくり・持続可能性
<p>私が住んでいるいちき串木野市は、「食の町」でマグロ漁船船籍数が日本一です。また、地域の方々は、毎朝私たちの通学を見守り、笑顔であいさつをしてくれます。クリーン作戦や資源回収、各種祭も盛んで、地域あげて安心、安全で豊かな町づくりに取り組まれています。そして、私の在籍している生冠中学校はコミュニティ・スクールです。年間50時間程度の授業支援、総合的な学習の時間発表会の審査・講評、3年生になると面接指導もしてくれます。私はこんな生冠が大好きです。私は将来、公務員になり、鹿児島県内の町が豊かで持続可能な楽しい町になるための仕事をしたいです。急激な人口減少社会、AIが台頭する社会を迎えますが、時代がどんなに変わろうとも、人と人との絆が一番大切だと思います。バレーボール部のキャプテンとなり、更にその思いを強くしました。まだ、クリーン作戦や祭の手伝いぐらいしかできていませんが、聖火ランナーになれば、命・平和の祭典として世界を一つにできるオリンピック・パラリンピック、スポーツのすばらしさ、人と人との絆の大切さを伝えます。</p>	

■第三者の推薦

申込者との関係	校長
<p>応募者は本校の2年生に在籍し、学級委員長を任されている。明朗快活、成績優秀で、男子バレーボール部のキャプテンも務めている。級友からの信望も厚く、困っている人や悩んでいる人には積極的に声をかけ、寄り添って課題解決を図ろうとする態度が普段から観られる。部活動生徒、キャプテンとして多用ではあるが、地域の行事にも積極的に参加している。将来は、公務員を希望しており、地域のために働きたいと思っている。これからの社会の動向にも注目し、英検等にも積極的にチャレンジし、3級を取得している。コミュニティ・スクールとしての取組である様々な方々との関わり合いを通して、相手を思いやり、対話して生きていくことの大切さを理解している生徒である。東京2020オリンピック聖火リレー聖火ランナーとして推薦する。</p>	

東京2020オリンピック聖火リレー 鹿児島県実行委員会選定ランナー

■聖火ランナー内定者

フリガナ	シライシ	シオン	年齢	職業
姓名	白石	紫音	15	中学生
ゆかりのある市町村		現在居住している市町村		
伊佐市		伊佐市		

※年齢は令和3年4月1日時点

■自己PR・応募動機

分野	復興・オールジャパン・世界への発信
<p>私は、出水養護学校中学部の2年生です。いろいろな学習に一生けん命、頑張っています。特に、体力がつくように、昼休みに、出水から福岡までの距離を目指して、毎日校庭を走っています。暑い日も、頑張っています。伊佐市は、生まれ育った場所であり、親せきや知っている人も多く、みんなに見てもらいたいのので、希望しました。ぜひ当選して、頑張っている様子を地元で見てもらいたいです。私は、小学3年生の時に入院をくり返しました。その時に看護師さんが優しくしてくれたので、自分も看護師になりたいと思いました。聖火ランナーになって、元気になった姿をみんなに見てもらいたい！走っている練習の成果をみてもらいたい！自分のペースで最後まで走りきりたいです。今まで自信がないことには進んで取り組んでいなかったので、この経験を生かして、いろいろなことに積極的に取り組んでいき、頑張りたいです。</p>	

■第三者の推薦

申込者との関係	母
<p>生まれつき、胸骨の一部がへこむ先天性の病気「漏斗胸」と診断され、小学3年生のときに2度の大きな手術をしました。小学5年で軽度の知的障害と診断され、中学進学時に現所属の出水養護学校へ進学しました。進学後、持ち前の明るさと前向きな姿勢で、いろいろな活動に取り組んでいます。漢字検定も5級に合格することも出来て、さらに次の級への挑戦にいどんでいます。地元を走ることで、自分の頑張っている姿を観てもらいたいと思います。8年前に他界した娘が大好きだった祖母にも見守ってほしいと思っています。聖火ランナーの経験を生かし、これからの進路に向けて一緒にがんばっていこうと思います。</p>	

東京2020オリンピック聖火リレー 鹿児島県実行委員会選定ランナー

■聖火ランナー内定者

フリガナ	ミヤノワキ	テンマ	年齢	職業
姓名	宮之脇	天馬	16	高校生
ゆかりのある市町村		現在居住している市町村		
さつま町		さつま町		

※年齢は令和3年4月1日時点

■自己PR・応募動機

分野	文化・教育
<p>私が住んでいるさつま町には、紫尾温泉やほたる舟など、素晴らしいところがたくさんあります。ただ、過疎化が進んでおり、私が通う宮之城中学校は、この4月に、町内に4校あった中学校が一つに再編合併してできました。合併では、環境の変化などにとまどうこともありましたが、聖火ランナーになったら、サッカーで培ったチームワークで、これまで一緒にいた仲間たちや新たに迎えた仲間たちと心を一つに、私の町のすばらしさを伝えたいです！また、私は、パソコンなど電子機器に興味があり、将来、機械生産のプログラマーとして、さつま町に恩返しができるかと考え、今は、受験勉強を頑張っているところです。来年は、志望校に合格し、高校1年生として、聖火ランナーにぜひ参加したいです。</p>	

■第三者の推薦

申込者との関係	父
<p>地元で育ち、受験生として大事な年ですが、中学校の合併という大きな出来事がありました。環境の変化やプレッシャーに負けることなく、精一杯やってもらいたいと思います！</p>	

東京2020オリンピック聖火リレー 鹿児島県実行委員会選定ランナー

■聖火ランナー内定者

フリガナ	タケノ	イサナ	年齢	職業
姓名	竹野	いさな	15	中学生
ゆかりのある市町村		現在居住している市町村		
湧水町		湧水町		

※年齢は令和3年4月1日時点

■自己PR・応募動機

分野	スポーツ・健康
<p>私は湧水町在住の中学2年生で、隣町の伊佐市菱刈でカヌー競技に取り組んでいます。のんびりと浮かんでいるイメージのカヌーですが、競技として成果を求めると、練習はとても厳しいです。コーチや鹿児島内外からの特別講師の方々に指導していただいて、去年は九州ブロック中学の部でベスト9に入ることができ、強化合宿にも参加することが出来ました。合宿中は、九州各県の選手や指導者の皆さんが練習に打ち込む姿を見て、カヌーがつなぐ仲間は本当に素敵だと感じました。今年の8月に菱刈カヌー競技場で行われたインターハイ全国大会にボランティアスタッフとして参加したことで、多くのスタッフの方に支えられて選手は競技に集中できるのだと思いました。カヌー競技はタイムを競うスポーツですが、それを通じて私の世界を広げることが本当に大事なことだと思っています。もし聖火ランナーとして選ばれることが出来たら、毎日支えてくれる家族や学校の先生方、カヌークラブの仲間らに感謝を込めて走りたいです。</p>	

■第三者の推薦

申込者との関係	校長
<p>本生徒は、小学3年生から陸上を始め、6年生からは親の勧めでカヌーを始めた。現在の目標はインターハイ出場であり、年上の高校生や社会人と一緒に練習に励み、めきめきと力をつけている。本校では、体力向上と生活習慣づくりのために毎朝のランニング活動を行っている。その活動にも欠かさず参加し、自分の目標をしっかりと見定めて、努力を積み重ねている。また、仲間に優しく接したり、自分の役割を果たしたりする生徒でもあり、明るく元気に学校生活を送っている。本人は自分がカヌーをできるのは、保護者や仲間など周囲の人々の支えがあるからであるという気持ちを強く持っている。カヌー大会の運営ボランティアへ参加したことで、さらにその気持ちを強く持った。聖火ランナーとして走る姿で支えてくれている人々への感謝の気持ちを伝えたいと強く希望しているので、学校としても、ぜひ実現させたいと考えている。</p>	

東京2020オリンピック聖火リレー 鹿児島県実行委員会選定ランナー

■聖火ランナー内定者

フリガナ	フジシタ	カイリ	年齢	職業
姓名	藤下	海里	16	高校生
ゆかりのある市町村		現在居住している市町村		
南九州市		南九州市		

※年齢は令和3年4月1日時点

■自己PR・応募動機

分野	復興・オールジャパン・世界への発信
<p>僕が産まれてからずっと住んでいる南九州市には、たくさんの良い所があります。その良さを日本、世界に広めようと、周りの大人の方たちはたくさんの活動をしています。ですが、僕は南九州市を日本・世界に広めようと活動したことがありません。今の大人の方々の想いを受け継いで、もっと多くの人に僕が育った市を知ってもらいたいとおもったとき、オリンピックの聖火リレーを思いつき、応募することにしました。僕が走ることで、南九州市について知ってもらえるとはおもいませんが、自分の「生まれ育った場所について知ってもらいたい」という気持ちが良い方向に進んでいけたらいいなと思います。もし、僕が聖火ランナーをつとめることができたなら、その経験を生かして、たくさんのことに積極的に参加し、世界がよりよくなるようにボランティア活動にも参加していきたいです。</p>	

■第三者の推薦

申込者との関係	母
<p>息子が陸上を始めて3年。中学生最後の年に「ALL JAPAN」(全中)への出場を決めて、夢をつかむ事ができました。これまで一生懸命ご指導して下さいましたコーチ、先生方、陸上という色々な種目がある中での仲間との助け合い、いつも応援して支えてくれたおじいちゃんおばあちゃん、たっくさんの方々への感謝の気持ちを込めて、この南九州市で聖火ランナーとして走らせたい思いがあります。この子の笑顔でまわりの人を元気にさせられる力があると思います。南九州市にはたくさんのパワースポットもあり、最近ではたくさんの観光客でにぎわっています。特に地元の「釜ふた神社」は勝利の神様の神社とも言われ、スポーツの祈願者が多いので、そこもまたアピールしていけたらなと思います。</p>	

東京2020オリンピック聖火リレー 鹿児島県実行委員会選定ランナー

■聖火ランナー内定者

フリガナ	シモタケ	ダイト	年齢	職業
姓名	下竹	大翔	15	中学生
ゆかりのある市町村		現在居住している市町村		
枕崎市		枕崎市		

※年齢は令和3年4月1日時点

■自己PR・応募動機

分野	スポーツ・健康
<p>聖火ランナーに応募できることを知った時「もし参加できるとしたら、こんな機会は滅多にないから、是非、走ってみたい」と思いました。そして希望走行市町を南九州市に選んだ一つの理由は在住する枕崎市に隣接していること、もう一つは南九州市知覧町にある知覧テニスの森公園で何回も試合をしているからです。テニスは兄の影響で小学校3年生から続けています。尊敬する錦織圭選手のように強くなりたくて日々練習をしています。今の目標は鹿児島県代表として九州大会や全国大会で活躍するテニスプレーヤーになることです。生まれ育った枕崎市が走行市町に含まれていなかったことは少し残念ですが、もし、聖火ランナーとして走ることができれば、枕崎市の中学生在が聖火ランナーとして南九州市を走ることで、枕崎市民の方々も聖火リレーに関心を持ってくれて、さらに盛り上げるきっかけになればいいなと思います。</p>	

■第三者の推薦

申込者との関係	教頭
<p>該当生徒は、普段から様々なスポーツに意欲的に取り組んでいる。昨年度の県中学生テニス新人大会では、1年生シングルの部で優勝し、今年度の県大会でもベスト8に残るなど大変活躍した。テニス競技以外にも、昨年度の南薩地区中学校駅伝大会の優勝チームの一員となったり、今年度の2年男子1500m走で県大会に出場したりするなど、長距離走でも桜山中学校の代表として活躍している。友人からの信頼も厚く、該当生徒が代表となって走ることになれば、他の生徒たちもオリンピック・パラリンピックに興味を持ち、中学時代の忘れられない思い出の一つになるに違いない。枕崎市は残念ながら聖火リレーのコースから外れており、国体のなぎなた競技に比べるとオリンピック・パラリンピックは盛り上がり今ひとつだが、該当生徒が本市の代表として走ることで、本校だけではなく市全体の盛り上がりも図りたい。</p>	

東京2020オリンピック聖火リレー 鹿児島県実行委員会選定ランナー

■聖火ランナー内定者

フリガナ	ナカオ	ソウシ	年齢	職業
姓名	中尾	颯志	15	中学生
ゆかりのある市町村			現在居住している市町村	
南さつま市			南さつま市	

※年齢は令和3年4月1日時点

■自己PR・応募動機

分野	スポーツ・健康
<p>私は小学校の頃、「益山ランナーズ」という陸上の少年団に所属していました。小さい頃から走るのが好きだったので、きつい練習にもあきらめず、6年生まで続けました。中学生になると、水泳の練習時間の都合で陸上部には入りませんでした。でも土曜日の朝練にはプールまで3キロ走っていくこともあります。そのあと泳ぐのはきついですが、走ることは好きなのでがんばっています。南九州市が走る区間にはいつか行ってみたいと知って、ぜひ走りたいと思いました。南九州市は小さい頃、川で遊んだことが度々あって、わりと近いです。1人200メートルですが、カッコいいトーチを持って走るのはどんなに気持ちいいだろう、と思いました。また家の近くを県下一周駅伝の選手が走り、川辺チームの応援をいつもしています。道路をトーチというバトンを持って、ぜひ南九州で走りたいです。そして、この経験を活かして、この先の中学校や高校でも走る楽しみを忘れないようにしたい。自信を持っているいろいろなことにチャレンジしたいと思っています。</p>	

■第三者の推薦

申込者との関係	母
<p>2019年4月より私の息子（申込者：中尾颯志）と同じ学校に赴任しました。親子でお世話になることになり、戸惑いもありましたが、今は走ったり泳いだりするの好きな息子を、陰ながら応援する毎日です。水泳をするために、プールまで3キロ走って行くこともあります。走ってからまた泳ぐのか！とびっくりしますが、小学校のころから走ることは苦ではなく、本当に好きなのだろう、と感じています。この募集があると知ってからすぐ、走りたい！と息子は言いました。トーチを持って走れるなんて、こんなカッコいいことないよ、と。南九州市は隣の自治体で、時々訪れます。小学校のころは磨崖仏のある公園に泊まったり、川で遊んだりしました。なじみのある南九州市で、ぜひ聖火ランナーとして走らせてください。この先この経験をもとに、きつくてもあきらめず、様々な大会がみんなのおかげで成り立っていることも忘れないで生活してほしいと願っています。</p>	

東京2020オリンピック聖火リレー 鹿児島県実行委員会選定ランナー

■聖火ランナー内定者

フリガナ	ヨシムラ	ルイ	年齢	職業
姓名	吉村	壘	15	中学生
ゆかりのある市町村			現在居住している市町村	
指宿市			指宿市	

※年齢は令和3年4月1日時点

■自己PR・応募動機

分野	スポーツ・健康
<p>生まれた時からずっと指宿に住んでいて大好きな町です。父母と姉、第2人の6人家族で毎日楽しく過ごしていました。姉弟とは喧嘩もたくさんするけど、仲良く賑やかな毎日でした。時間があると近くにある鰻池までみんなでランニングして、その地区で有名なスメでゆで卵を作って休憩し、また走って帰る、そのコースが大好きです。でも今年4月28日、そのランニング中にすぐ下の弟が突然死しました。その日から家族でのランニングはしなくなり、大好きな鰻池にも行くのが怖くなり、毎日悲しみの中過ごしています。今までは、時間があれば庭で野球の練習をして、うるさいくらい賑やかだったのに、今では家の中も静かです。聖火ランナーの募集を知り、走る日が命日の翌日なのは弟からの何かのメッセージのような気がします。僕が一生懸命走ることで、家族みんなを明るく前向きに出来ると思います。それを弟も望んでいると思うので、是非、選出お願いします！選ばれたら弟と一緒に一生懸命走ります。</p>	

■第三者の推薦

申込者との関係	母
<p>走るのが大好きな子です。中学校では野球部に所属し、時間があれば第2人と庭で野球をしていました。いつかプロ野球選手になると夢を持ち、人一倍練習し努力していた弟が、今年4月28日に家族みんなでランニング中に急死し、未だ信じられず悲しみの中過ごしています。その日から家族でのランニングもしなくなり、大好きだったランニングコースにも行けなくなりました。東京オリンピックを楽しみにしていた弟のためにも、そして本人がこの悲しみを乗り越えて、これからの日々を前向きに過ごして行く為にも是非、聖火ランナーにお願いします。聖火ランナーに選ばれた際には、弟も一緒になって精一杯走って欲しいと思います。走る日が一周忌の翌日なのは弟からの頑張れのメッセージのような気がします。走り終わった時には、きっと家族みんな上を向いて前向きな気持ちになれそうです。是非、よろしくお願いします。</p>	

東京2020オリンピック聖火リレー 鹿児島県実行委員会選定ランナー

■聖火ランナー内定者

フリガナ	メグミ	トシアキ	年齢	職業
姓名	恵	俊彰	56	タレント
ゆかりのある市町村		現在居住している市町村		
鹿児島市		(非公表)		

※年齢は令和3年4月1日時点

■自己PR・応募動機

分野	復興・オールジャパン・世界への発信
<p>父は鹿児島市で大島紬を作っていました。子供の頃、我が家にはたくさんの職人さんがいて、僕は泥染の泥の匂いと織子さん達が締機（しめばた）で奏でるガタン、コロコロという音の中で育ちました。今、毎日の生放送で、その日一番の最大関心事を発信しています。これまで続けてこられたのは、大島紬の職人さんたちに囲まれて育った、この物作りの環境のおかげだと思っています。僕は東京オリンピックが開催された1964年に生まれました。ただ生まれたのが12月21日だったので、残念ながら、オリンピックを全く観ていません。僕の4人の子供たちもオリンピックの年やその年度生まれです。1996年のアトランタオリンピックの年度に長男が生まれました。2004年のアテネオリンピックの年に次男が、2008年の北京オリンピックの年に長女が生まれました。そして4人目の子供が生まれたのが2012年ロンドンオリンピックの年です。恵家は、オリンピックには縁があります。これだけ縁を感じているオリンピックが東京で開催されるのです。これはもう参加せずにはいられません。何としても、聖火ランナーとして参加し、今度こそ、東京で開かれたオリンピックを次の世代の子供たちに語りたと思います。</p>	

■第三者の推薦

申込者との関係	鹿児島県実行委員会
<p>鹿児島県出身者であり、10年以上、「TBS ひるおび!」のメインキャスターを務めるほか、俳優、タレント、司会と多方面で活躍しており、高い情報発信力が見込まれる。</p>	

■新たな聖火リレーに対する現在の想い [恵俊彰さんからの追伸]

2020年の東京オリンピック・パラリンピックは延期になりました。
2020年にコロナウィルスが世界を襲いました。
そして今もなお、コロナウィルスとの戦いは続いています。

振り返ると2020年は卒業式、入学式、甲子園、国体・・・、実に色々なイベントが中止になりました。
学校や職場にはリモートが導入され、そこに行かなくても仕事や授業を受けることができるようになりました。
人と人の距離は保たれ、マスクは必需品になりました。
いわゆる新しい生活様式です。

その結果、少しずつですがコロナとの戦い方が分かってきました。

そして2021年、今年はついにワクチンの接種も始まりました。
防戦一方だったコロナとの戦いも攻めに転じ始めたのです。
もちろん、まだまだ予断は許しません。コロナは強敵です。
でも色々なことが、いつまでも中止でいいのでしょうか。

コロナ禍でも人間らしく生きる。
2021年は、その挑戦の始まりの年だと思います。
そしてその最初の挑戦が東京オリンピック・パラリンピックだと思います。
最善を尽くし、やれる範囲で開催するやり方を模索する。
コロナ禍でもやれるオリンピック・パラリンピック。
自分もぜひ参加させていただきたいです。

2020年に聖火リレーのお話をいただいて分かったことがあります。
自分は鹿児島県立甲南高等学校を卒業しました。なんと前回の1964年の東京オリンピックの聖火リレーでも甲南高等学校の体育系部活動の先輩方が聖火ランナーとして、鹿児島市内の高麗橋のたもとから高見馬場まで走られたそうです。
甲南高校のタスキもつなぎたいです。
甲南魂、「剛・明・直」を胸に気高く、優しく、健やかに走ろうと思います。